

湯田小学校からの報告

水生生物調査結果

調 査 場 所 名 (No.)		内保町の寺院付近 No.1	内保町の北 No.2				内保町の寺院付近 No.1								
月	日	時	刻												
				6月5日	14時00分	6月19日	14時00分	11月6日	14時00分						
天	気			晴れ				晴れ							
水	温	(°C)	23.0 °C				21.0 °C				16.0 °C			
気	温	(°C)	26.0 °C				30.0 °C				17.0 °C			
川	幅	(m)	1.0 m				1.0 m				1.0 m			
河	川 名			用水路				用水路				用水路			
生	物 を 採 取 し た 場 所			全面				全面				全面			
水	深	(cm)	15.0 cm				20.0 cm				15.0 cm			
流	速	(cm / s)	70 cm/s				70 cm/s				70 cm/s			
水	の	よ	う	す 指 標 生 物											
I き れ い	1	カワゲラ類		○				○				○			
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類		○				○				○			
	3	ヒラタケロウ類													
	4	ブユ類													
	5	ヘビトンボ類													
	6	カガシホ類													
	7	サワガニ		○				○				●			
I・II 共 通	8	ウスムシ類													
	9	2以外のトビケラ類													
	10	3、14以外のカゲロウ類		○											
II 少 し よ ご れ て い る	11	ヒラ外ロムシ類													
	12	ジジミ類		○				○				○			
II・III 共 通	13	カワニナ		●				●				○			
III よ ご れ て い る	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ													
	17	モノアラガイ		○				○				○			
III・IV 共 通	18	サカマキガイ													
IV 大 変 よ ご れ て い る	19	赤いユスリカ													
	20	イトミス類													
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水			のようすの区分											
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)		4	3	2	0	3	2	2	0	3	2	2	0
	合 計 (1欄+2欄)		0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	
判 定 結 果 (合計が最も大きい区分)		I・II				I・II・III				I					

調査考察、活動内容等

湯田学区は、草野川の伏流水がわき出ているところが多く、美しい水が地域の水路を巡っています。本校のみずすまし調査隊は、4年生から6年生の湯田の自然クラブの児童で構成されています。月曜日6校時がクラブの時間となっているため、学校から近い水路を調査フィールドにしています。天候や1単位時間という制約があり、効率よく活動できるように事前に活動の目的や方法を説明しています。本校のクラブ活動1年間を前期、後期に分けていますが、自然観察や生き物採取が好きな子どもが継続して自然クラブに入ってくることも多いため、採取のコツなどを子ども同士で教え合っている姿も見られます。また、現地で地域の方が子どもたちに昔の川の様子などを話して下さることもあり、子どもたちが自分の住んでいる地域を知るよい機会となっています。

活動の様子

○6月5日(月) 内保町の寺院付近

天気	晴れ	川幅	1m
水温	23℃	水深	15cm
気温	26℃	流速	0.7cm/s

今年度初めての水生生物調査でした。この水路は活動場所の途中で、寺院の境内に引き込まれ、野菜を洗うなどカバタとして今でも利用されています。川底は砂地のところとコンクリートが張っているところがありました。講師の方から、生き物の隠れている場所や逃げ方、また自分たちが川に入るときに注意点などを教えていただいた後、各自がバケツ、魚とり網を持って入りました。採取した生き物はバットに入れて、図鑑で名前を確認しました。子どもたちは、カゲロウやトビケラなどを実際に見て、小さいことに驚いた様子でした。ヤゴの種類が多く見られ、肉食動物であるヤゴが多いということは、栄養源が豊富でいろいろな生き物がたくさんいる川であることが確認できました。またゲンジボタルのえさとなるカワニナが見つかったことから、「ほたるが見られるかもしれない。」「また、来よう。」と話している子どももいました。



○6月19日(月) 内保町北の用水路

天気	晴れ	川幅	1m
水温	21℃	水深	20cm
気温	30℃	流速	0.7cm/s

内保の北を流れる用水路で活動しました。前回の町中を流れる水路とは違い、川の両側は草に覆われていました。川底は砂利と土でした。「生き物が隠れる場所が多いな。」と言いながら、たくさん生き物を採取しました。一番多かったのは、カワニナでした。シジミの稚貝も見つかりました。2回目で採取にも少し慣れて、動きの速い魚も協力してとることができました。地域の方から、川の清掃についてお話を聞くこともできました。



○11月6日(月) 内保町の寺院付近

天気	晴れ	川幅	1m
水温	16℃	水深	15cm
気温	17℃	流速	0.7cm/s

初回と同じ場所で採取をしました。水生生物が晩秋から冬にかけて多くなっていることを予想しましたが、時期的にまだ早かったようです。夏よりも数が少なくなっていました。水は冷たく感じられました。子どもたちは網の使い方が上手になって、カワムツやドンコ、ヨシノボリなどの魚も捕ることができました。



まとめ

○子どもたちの感想から

・湯田学区にはいろいろな生き物がいて、にぎやかだなあと思いました。他の学年の人とも協力して活動できてよかったです。

・水生生物がたくさんとれて、とても楽しかったです。ふだんは川に行くことがなかったので知らなかったけれど、身近な川にたくさんの生き物がすんでいることを初めて知りました。もっと川の生き物のことを知りたいです。

・魚はせいっぱいがんばって生きていることがわかりました。また、飼って調べてみたいですね。

・今まで知らなかった自然をたくさん感じることができました。もともと生き物は苦手だったので、一度触れてみようというクラブに入りました。川の中を歩いて、たくさんの生き物を見られてよかったです。みんなで生き物を大切にするというめあてを守って、楽しく活動できてよかったです。

・いろいろな場所に行っているいろいろな生き物の名前や特徴を知って興味を持ちました。また家でも観察をしたいです。

・ドジョウの顔がかわいいなと思いました。

・これからもたくさんの生き物がすめる湯田学区の川だといいなと思います。

自然の様子を調べるために水路に入るときには、生き物たちのすみかに「お邪魔させてもらう」という気持ちを持って活動することと、活動した後は「ありがとう」と言ってやさしく放すようにしました。採取場所の順序を話し合ったり、生き物の気持ちになって、隠れ場所や逃げ道を予想したりして、効果的に採取することができるようになりました。活動が終わった後は、生き物がすみかとして選んでくれた場所なので、できるだけ元通りにして帰ることを心がけています。

通学路脇の川であっても、子どもたちは普段見ることがなく、意識としては遠い川になっています。子どもたちにとって身近な川にするために、その場所に魅力を感じ関心を持つように働きかけていくことが必要だと考えています。みずすまし活動によって、子どもたちは川での観察におもしろさを感じ、捨てられている空き缶などに気づくようになりました。これからも、みずすまし活動を続けることによって、環境について問題意識を持ち、環境を守るために行動できる子どもたちを育てていきたいと思えます。